

評価事業報告書

2016

---

認定NPO法人  
トリトン・アーツ・ネットワーク  
評価委員会

---

# はじめに

---

本報告書は、2014年度から2016年度にわたる第5期トリトンアーツ評価委員会の3年目の報告書です。これまでの4期に渡る評価委員会の活動を踏まえ、2020年の東京オリンピックを展望に入れ、2016年度に設立15周年を迎えたトリトン・アーツ・ネットワーク（以下トリトンアーツ）がさらに有意義な成果を上げることができるよう、2016年度の活動を評価させて頂きました。

2016年度の活動評価にあたって、事業報告書や評価報告書等を読み返し、トリトンアーツ事務局からの詳細な説明を受けて、活動内容を確認しました。2014年度に定めた4つの評価項目、①活動全般、②企画公演事業（ホール公演事業）、③コミュニティ事業&教育普及事業、④NPO組織体制を、できるだけ具体的に、定量的指標と定性的指標とを合わせて評価しました。2015年度に引き続き、コミュニティ事業と企画公演事業との連携についても検討させて頂きました。トリトンアーツは目標達成率や充足率など細かなデータを集め、自ら検証していることから、それらを活用できればと考えました。もちろん、トリトンアーツの活動成果すべてについてきちんとした数字で評価することはできませんが、何らかの指標を用いてわかりやすく表現するように努めました。

その上で、2016年度については、『事業報告書2016(案)』と「2016年度業務計画振返り」（トリトンアーツの自己評価）に対するコメントを中心としながら、評価委員自らが体験した活動へのコメントを加えました。

何よりも特筆すべきことは、トリトンアーツが「平成28年度 東京都共助社会づくりを進めるための社会貢献大賞」において、「特別賞」を受賞したことです。「第一生命ホールを拠点に、ボランティアが、スタッフと協同し、イベントやロビーコンサート、学校・施設に音楽を届けるアウトリーチ活動等を運営」という点が高く評価されたものです。2001年の設立当初より、中央区在住・在勤者や愛好家を中心にサポーター(ボランティア)の組織化と支援を行ってきた、これまでの15年にわたる地道な努力が報われました。

認定NPO法人(特定非営利活動法人)としての活動が3年目を迎え、個人や企業からの寄付金の継続的な獲得等の経営努力により、2016年度は黒字を計上できました。やりくりし苦勞する芸術団体が多い現状において、トリトンアーツはひとつの手本となることでしょう。

第5期評価委員会の最終の報告書となることから、各委員からの、将来への展望を視野にいった中・長期的提言もまとめさせて頂きました。

トリトンアーツは何か新しいことをやる、というよりも、これまでのトリトンアーツの活動を継続してほしいと思います。コミュニティ事業をホール公演事業と並び立つ活動と位置づけ、この2つを大きな柱として、認定NPO法人としての組織体制を継続させてください。聴く人、演奏する人、両者をつなげる人、それぞれがうまくつながっていくと、「音楽でつながり、音楽とともに生きる社会の実現」へとより近づくでしょう。トリトンアーツがコミュニティ事業をホール公演事業と並び立つ活動と位置付けている、という点は大きな特徴となっています。

本報告書がトリトンアーツのますますの発展を支えるものとなるよう祈念しております。

2017年7月

トリトンアーツ第5期評価委員会委員長

田中敬文

# 第 I 部 トリトンアーツの事業への評価について

第 5 期としての 3 年度目にあたる 2016 年度の委員会は 2017 年 3 月から 5 月にかけて 3 回行われた。2016 年度の業務報告等の結果を踏まえて評価を行った。

## トリトン・アーツ・ネットワーク 第 5 期評価委員会(2016 年度)

### 1. 委員会メンバー

委員長 田中敬文 (東京学芸大学准教授)  
委員 並河恵美子(認定 NPO 法人 芸術資源開発機構 (ARDA) )  
委員 内田 秋 (公益社団法人企業メセナ協議会)  
委員 大久保広晴 (公益財団法人読売日本交響楽団)  
委員 町田一雅 (中央区文化・国際交流振興協会)  
事務局 島岡未来子 (早稲田大学准教授)  
丸山祐丞 (早稲田大学研究員)

### 2. 2016 年度評価委員会開催記録

- ・第 1 回 2017 年 3 月 1 日 (水)
- ・第 2 回 2017 年 4 月 12 日(水)
- ・第 3 回 2017 年 5 月 19 日(金)

### 3. 第 5 期委員会の評価活動について

- ・第 5 期委員会の中長期期間(2014 年度～2016 年度)の評価活動  
東京オリンピック開催(2020 年)を視野に入れながら、トリトンアーツのミッション実現のための取組や、第一生命ホールが果たしてきた役割とその存在意義等を定量的・定性的指標により評価したい。  
2016 年度には、3 年間の評価活動、及び将来への展望を視野にいれた提言を行う。

### 4. 2016 年度の評価活動 (第 II 部 1~4)

- ・「2016 年度トリトンアーツ自己評価」『事業報告書 2016』に対するコメント
- ・ホール公演事業、コミュニティ事業、NPO 組織体制の各々についての評価  
⇒別紙: 2016 年度の評価活動参照

### 5. 将来への展望を視野にいれた中・長期的提言: 「音楽でつながり、音楽とともに生きる社会の実現」へ向けて (第 II 部 5)

### 6. 評価委員終了にあたっての各委員からのメッセージ (第 II 部 6)

別紙: 2016 年度の評価活動

評価ポイント <具体的な指標の例>

|              | 活動全般  | ホール公演事業   | コミュニティ事業  | NPO 組織体制                         |
|--------------|---|---|---|----------------------------------|
| 2014 年度      | 「2014 年度トリトンアーツ自己評価」『事業報告書 2014』に対するコメント  | ・継続的事业について継続性の確かさを評価する                                | ・継続的事业について継続性の確かさを評価する  | ・継続的事业について継続性の確かさを評価する           |
|              | 「2015 年度トリトンアーツ自己評価」『事業報告書 2015』に対するコメント  | ・第一生命ホール 15 周年に向けて、ホールが果たしてきた役割とその存在の明確化              | ・サポーターがどの位関わっているか過去と比較  |                                  |
| 2015~2016 年度 | 「2016 年度トリトンアーツ自己評価」『事業報告書 2016』に対するコメント  | ・各公演について入場券の達成率・収支率はどうか? <定量的指標>                      | ・コミュニティ事業がホール公演事業などに結びついていないか<親子向け公演などの入場者数を過去と比較, 小学校アウトリーチ実施後のアンケート調査、音楽へ関心を持つようになったか等> | ・リニューアルしたサポーター制度は機能しつつあるか?       |
|              | 東京都共助社会づくりを進めるための社会貢献大賞「特別賞」受賞  | ・若い聴衆の育成に向けた取り組みは進んでいるか?<br><小学校高学年や中・高・大學生が来場しているか?> | 明正小学校<br>アウトリーチ<br>(テレビ朝日放映<br>2017.2.23)   | ・トリトンアーツの会員・寄付者は増えているか? <定量的指標>  |
|              | NHKBS (2015 年収録)<br>カルミナ四重奏団/<br>竹澤恭子<br>(2016 年収録)<br>ディオティマ弦楽四重奏団/<br>ラデク・バボラーク | ・「晴れた海のオーケストラ」に関する評価                                  | ・アウトレーチ活動へ興味を持つ演奏家が増えたか?  | ・<認定 NPO 法人となったことが寄付金獲得を増加させたか?> |
|              |   | ・若手アーティスト育成事業の意義                                      | ・コーディネーターの育成  |                                  |
|              |   | ・広報宣伝活動の取り組み<br><TV 放映の増加など ><br><ホームページへのアクセス数など>    | ・教育委員会との連携  |                                  |
|              | 東京オリンピック開催(2020 年)  |   |   |                                  |

## 第Ⅱ部 2016年度評価活動

### 1.活動全般(全体の総括)

トリトン・アーツ・ネットワーク／第一生命ホールは、2016年11月に創立15周年を迎えた。2016年度について、『事業報告書2016(案)』と「2016年度業務計画振返り」から、「音楽によるコミュニティの活性化を図る」「音楽の楽しさを分かち合い、心を豊かにする」というミッションは十分達成しつつある、と高く評価したい。

何よりも特筆すべきことは、トリトンアーツが「平成28年度 東京都共助社会づくりを進めるための社会貢献大賞」において、「第一生命ホールを拠点に、ボランティアが、スタッフと協同し、イベントやロビーコンサート、学校・施設に音楽を届けるアウトリーチ活動等を運営」という点が評価され「特別賞」を受賞したことである。リニューアルしたサポーター制度は、ボランティアの継続的な育成にも繋がるものである。

トリトンアーツが人口急増地域の晴海において、音楽とともに豊かに育つ社会の実現へのビジョンとミッションを基にした事業戦略とプログラム作りが素晴らしい。

自主企画公演事業(ホール公演事業)や、コミュニティ事業&教育普及事業における小学校アウトリーチ事業の好評さなど、これまでの継続的事业について、継続性の確かさが一層高まってきた。

公演のNHK・TV放映が増えたことにより、トリトンアーツの活動や第一生命ホールの知名度がますます上がることとなった。

### 2. 自主企画公演事業(ホール公演事業)

#### <集客の入場者数の目標達成率について・チケット販売について>(定量的指標)

- ・実施した事業について、目標達成率や充足率など細かにデータを集め、検証していることは評価できる。
- ・入場者数の目標達成率は、92.0%と100%には達せず、前年度を下回る数字になっている。しかし、バラエティに富んだ事業プログラムを実施している点や独自の企画を打ち出していることは、長期的な視点で見れば効果があると思う。今後の入場者数の増加に期待したい。
- ・ホール公演事業で質は高いが入場者数が少ないというコンサートもある。しかし、ホールの質を保つことも必要であろう。

また、「東京都社会貢献大賞」の特別賞を受賞したことや、2回のNHKの収録などで活動が広く認知されることも、少しずつ入場者数の増加に繋がると予想される。

#### <主な公演について>

##### ・『晴れた海のオーケストラ』について

10月に第2回演奏会を成功させたほか、9月に外部(東京オペラシティ)での公演を行うなど、知名度が高まっている。

##### ・クァルテット・ウィークエンド(SQW)(5公演)

SQWでは、5つのバラエティに富んだ団体を取り上げ、9月のディオティマQの公演はNHKの収録と朝日新聞の公演評が入るなどクラシック音楽界において注目度の高いものだった。リニューアルのポイントである若手有望株のウェールズQの今後にも期待が持てる。

### ・ウィークエンド・コンサート(5公演)

11月のバボラークによる「ホルンの室内楽」のチケットが完売し、NHKの収録が入るなど、大きな効果を生んだ。特に、「ヤング券 87枚」は突出しており、プログラムの内容次第で若い世代を第一生命ホールに呼ぶことができる好例である。

・「假屋崎省吾と聴く児玉麻里」の新企画は、チケット販売に苦労したとのことであるが、他ホールでは聴けない独自の企画なので、今後トータルとしてぜひとも成功させてほしい。ピアノ演奏とトークをダブルで楽しむことができる貴重な機会でもある。

### ・ライフサイクルコンサート

「子どもといっしょにクラシック」「ロビーでよちよちコンサート」「音楽と絵本」「クリスマス・コンサート」など、どこのホールでもやっていないトリトンアーツの独自の視点が生きている。

100%を超える達成率で、近隣に住む親子に求められている活動といえよう。

ヤング券と子ども等で、年間1,481枚の販売があったことも評価できる。今後は、さらに告知の方法や取り組み方を改善することで、若い聴衆を増やしてほしい。

・「昼の音楽さんぽ」は、前年から曜日や時期を変えて行っており、その試みは集客にも結びついている。夏休みに実施したことは、子どもに聴いてもらう良い機会になった。

・「子どもといっしょにクラシック」はどれも評価できるが、中でも「クリスマス・オーケストラ・コンサート」は独自の企画であり、チケットの販売成績も良く、ホールや地域にとって大変意義深い事業である。

年少人口(0~14歳)の増加率(特に0~4歳)が大変高いこと、及び30~40代の年齢層(働き盛り・子育て世代)が人口構成全体の最大の山となっている中央区における人口構成の特徴を踏まえると、今後ともこれらの層(宝の山!)にとって魅力のあるプログラムを組むことにより、入場者数を一層伸ばすことにもつながり、ビジョン&ミッションの実現に推進を図ることができるのではないかと。

### ・630コンサート

岡本誠司(ヴァイオリン)コンサートは、若手演奏家支援がヴィエニャフスキコンクール2位受賞につながった好例である。

本田雅人 B.B.STATION(ビッグバンドジャズ)コンサートは、40~50代のジャズ愛好家の他、10代女性の来場もあった。プログラムの内容次第で、若い世代も第一生命ホールに呼び込める。今後は、クラシックに限らず、幅広い分野からプログラムを組み、若い世代の来場者を増やしてほしい。

・トリトンアーツのコミュニティ活動と関係の深い「Buzz Five」と新規共催をはじめたことは、ホールのひとつの象徴的な事業としての発展へ、期待が持てる。

### <広報宣伝活動の取組みについて>

・2016年度、NHK・BSプレミアム「クラシック倶楽部」において、ディオティマ弦楽四重奏団とラデク・バボラークの公演が収録され、放映された。公演は2014年度、2015年度に続いて収録されており、トリトンアーツの認知度が一層高まった。室内楽の魅力・ブラームス第2回(竹澤恭子、公演は2016年3月)、SQW(ディオティマ弦楽四重奏団)、室内楽の魅力・モーツァルト第2回(ラデク・バボラーク)と、いずれも注目を集めた公演であった。

・広報宣伝活動については、限られた予算の中で、トリトンアーツの多様な活動を分かりやすく紹介している点は評価できる。「15周年」についても、ロゴなどによって周知できていた。

「トリトンアーツ通信」の内容は、公演へ向けた演奏家のインタビューなど毎回充実しており、コミュニティ活動の報告も分かりやすくまとまっている。安定性の高い刊行を続けているが、今後は SNS の使用との役割を再確認するなどして、より効果的な媒体であるためにリニューアルなどを検討しても良い。

チラシは、コンサートの性格にあわせ、雰囲気を変えて作成している点が評価できる。さらなる集客のためには、より多角的な方法で演奏会の魅力をアピールすることも必要である。予算や規模に対して、チラシの枚数が多い事業もあるように感じる。コンサートサービスでの配布量などを再検討し、工夫することも必要である。

インターネットや SNS でのホームページへのアクセス数の高い達成率などの目標達成は、一定の評価はできる。オープンハウスや子育て支援などでのフェイスブックを活用したことなども評価できる。新たにフェイスブックも開設された。今後は、事業内容によって SNS の活用方法を変えるなど、さらなる工夫により、効果を高めてほしい。オープンハウスのフェイスブックなどは、もっとボランティアや参加した皆様がコメントをするなど、双方向性のメディアを生かし、さらに関心が高まることを期待したい。

音楽雑誌「ぶらあぼ」は、2016年8月からリニューアルし、カラフルな広告になり、明るい雰囲気イメージが良かった。今後も音楽ファンへの貴重な広報ツールとして、生かしてほしい。

今後、さらにチケット購入者を増やすために、チケット発売日の設定とそれに向けた効果的な広報活動を模索してほしい。ダイレクトメールも、より効果のある方法や形態、時期などを検討してほしい。

### 3. コミュニティ事業&教育普及事業

<コミュニティ事業がホール公演事業などに結びついているか?>

・「はじめてのクラシック」「Meet the 和楽器」など小学校へのアウトリーチ事業

・中央区立小学校へのアウトリーチについて、2016年度は16校中13校で実施された。それぞれの小学校からの申請による受付に切り替わったが、2017年度から1校増え14校からの挙手があったとのこと、これは2016年の内容を受けての反響と言える。また、「地域の第一生命ホール」としての認識も高まっているとも言える。

一流の演奏家による「生演奏」を目の前で聴いて多くの感動と刺激を受けている。アウトリーチを体験した小学4年生のアンケートでは、そのほとんどの児童が「今までより音楽が好きになった」「もっとコンサートに行ってみたい」と記載している。そのため、全校の実施を目指して、今後ともアウトリーチ活動の充実強化を図っていただくとともにそのフォローアップにも期待したい。

・ Buzz Five や TANBRASS の活動は若手を引き込むことができる

・ **第一生命ホールロビーコンサート**

・ 参加した委員からのコメント: 5月18日夕方にグランドロビーで公募による演奏参加型で演奏参加25人がコンサートに出演していましたが、公募によりそれぞれ楽器を持ち寄って参加された一般の方々と一緒に「好きです、トリトン!」を楽しく合奏して会場に一体感が生まれて盛り上がっていました。6月6日には晴海総合高校で「高校生吹奏楽部アウトリーチ」を実施し、「好きです、トリトン!」を合奏し、大変好評でした。

・ **「オープンハウス 2016」(7月)**

2年連続で参加者が減少した。

・ 参加した委員からのコメント: 実際にオープンハウスを訪れた際、サポーターの皆さんが深くコミット

しているプログラムとして責任感を持ちながら楽しく参加されている様子が見てとれ、サポーター制度の見直しがうまく機能していることと、事務局の皆さんのチームづくりのうまさを感じました。今回は「企画をファミリー層へシフト」されたとのことで、狙いどおりファミリーでの参加が多く「家族で」楽しんでいる様子が見られ、ホールの楽しみをひろげクラシック音楽への敷居も感じさせない貴重な内容であると感じました。

#### <教育委員会や中央区との連携について>

コミュニティ活動へ教育委員会を通し希望校へは学校に予算がつくようになった。これは社会的な意義が得られたことだと思う。また、中央区生涯学習課が主催する「中央区民カレッジ」との連携もうまくいっている。

「中央区民カレッジ クラシック入門講座」の講座の中で、「晴れオケ」公演前日の「リハーサル」見学を設けたことは、受講者にとってオケの音づくりの現場に立ち会うことができる大変貴重な機会であった。今後の来場者につながるであろう。

#### 4.NPO 組織体制

##### <リニューアルしたサポーター制度は機能しつつあるか?>

サポーター制度の大幅なリニューアルは、今後の企画づくり、ホールづくりの大きな柱となる。サポーター制度は、要件を満たす人材の採用と“適材適所”による配置となり、ボランティアメンバーでありながら、各人の強みを活かせ、なおかつトリトンアーツとしても企画の充実に寄与するものとなっている。サポーターは若い年代も多いことから、若い世代の社会活動への参加を促すよいサイクルを生み出しつつある。

##### <トリトンアーツの会員・寄付者は増えているか?> (定量的指標)

個人会員について、新規正会員が 109 名を獲得でき、今までにないほど大きく増えた。第一生命保険と二人三脚で運営をされている企業メセナの手法としてとてもユニークである。また、メセナを推進する企業において、社と社員のサポートという二重構造を持つ安定的な点、社内理解も促進する手法である点は、企業メセナとしても評価できる。

- ① 個人会員については、第一生命保険・DSR 推進室長自ら各所部へ声掛けにまわり獲得。
- ② 全社的な取り組みとして、DSR 推進室が旗振り役となり、本業を踏まえた社会貢献への参加を促している。仕組みのひとつとして、月 1 回、DSR 推進室から配信しているメルマガがあり、各所属で行う社会貢献活動を「見える化」している。
- ③ 社員参加の仕組みとして、7 月オープンハウス、3 月子育て支援コンサートは、所属部署に関わらず社員なら参加できる。

##### <認定 NPO 法人となったことが寄付金獲得を増加させたか?>

認定 NPO 法人(特定非営利活動法人)としての活動が 3 年目を迎え、個人や企業からの寄付金が 5 千万円を超えて経常収益の約 4 割に達した。寄付金の継続的な獲得等の経営努力により、2016 年度は黒字を計上できたことは、今後の発展を予期させるものである。

最後に、トリトンアーツの活動は、理事・監事の暖かなご理解と献身的なご協力に支えられていることを記しておきたい。



## 5. 将来への展望を視野にいた中・長期的提言：「音楽でつながり、音楽とともに生きる社会の実現」へ向けて

何か新しいことをやる、というよりも、これまでのトリトンの活動を継続してほしい。ホール公演事業とコミュニティ事業を大きな2つの柱とした活動を継続させて、認定NPO法人としての組織体制を継続させてほしい。聴く人、演奏する人、両者をつなげる人、それぞれがうまくつながっていくと、「音楽でつながり、音楽とともに生きる社会の実現」へとより近づくであろう。

以下、各委員からの提言。

「晴海から発信する、音楽のある街」の核として第一生命ホールの存在を印象付けてほしい」(内田委員)

- ・サポーターリーダーによるサポーター育成の仕組みを作してほしい。
- ・小学校などへのアウトリーチは、数年後サポーター登録を生み出す余地もあり、ボランティアに関心はあっても参加率の低い10代・20代を巻き込むことができる。

「「ホール公演事業」及び「コミュニティ事業（ロビーコンサート、アウトリーチ等）」を合わせた総合的な取組を推進しよう」(町田委員)

- ・(仮称)水辺の音楽祭（晴海音楽祭）を開催しよう：「晴海トリトンスクエア」を舞台に、「晴れオケ」や「バズ・ファイブ」をはじめアウトリーチやホール公演事業に参加した演奏家のほか、中央区交響楽団や地元の小中学校・高等学校、中央区第九記念合唱団など地域の団体・グループも参加して一緒に開催しよう。
- ・(仮称)音楽コンシェルジュを任命しよう：「音楽のプロフェッショナル」として、いつでもどこでも聴きたい音楽を気軽に選んで届けてくれる、希望する演奏家を派遣して音楽会を開催してくれる、都内でのコンサート情報についての問い合わせにも迅速に対応し、チケットの入手方法なども案内してくれるなど、身近な存在として、音楽のことならどんなことでも対応してくれる人材。

「アート・マネージメント研修を設けサポーターから企画運営ができる人材を育てる」(並河委員)

「お子さまからお年寄りまで、アクセスしやすい団体に！」(大久保委員)

- ・ホームページ（トリトンアーツ・ネットワーク／第一生命ホール）で楽しい動画が見られたらよい。
- ・マスコットキャラクターを活用する。
- ・「トリトンアーツ通信」は文字を大きくし、年配の方に特化した情報コーナーを作る。

「音楽を、より日常に！」(大久保委員)

- ・中長期的には、公演事業数をまずは50本ぐらいまで、さらには70本～80本を目指してほしい。
- ・共催事業の枠組みをさらに広げる、音楽実演団体や音楽マネージメントなどと協力し、良い内容の共催事業数を増やす、などを検討してほしい。
- ・人気のある630コンサートの拡大（隔月開催など）や、完売が続く「子どもといっしょにクラシック～クリスマス・オーケストラ・コンサート」の回数増加などから始まり、ロビーコンサートを増やすことや、1階席の一部だけを開放するコンサートなどで、1回ずつの様々な負担を減らしながら、少しでも回数を多く（＝より日常的に）事業を行ってほしい。

## 6.評価委員終了にあたっての各委員からのメッセージ

### トリトンアーツ～第5期評価委員を経験して思うこと～

認定 NPO 法人芸術資源開発機構 (ARDA)

代表理事 並河 恵美子

5期の評価委員として委員会に出席させていただき、外部の NPO 活動の実状に触れるという初めての経験をいたしました。ゼロから始めた弱小 NPO にとって第一生命保険株式会社の社会貢献としての NPO 法人の活動規模に正直、圧倒させられました。年度末のトリトンアーツ活動自己評価のまとめを拝見して頭が下がる思いでした。

ビジョンとミッションを基にライフ・サイクルに合わせたプログラム作りは先駆的です。幼児から働き盛り、高齢になっても地域の中で「音楽でつながり、音楽とともに生きる社会の実現」への活動を持続発展するためにサポーター制度の変革は有効でした。地域に根ざして学校や施設へアウトリーチする演奏家とホール事業を結び、循環しながら音楽の輪を広げる活動は「東京都社会貢献大賞・特別賞」にふさわしい受賞でした。

また、ホール専属の室内オーケストラ「晴れた海のオーケストラ」の誕生と今後の活躍を楽しみにしています。オリンピックを機に人口急増地域の晴海より、普段の姿を世界に発信していただきたいと思っています。

この3年間、私たち委員会の提案に速やかに対応してくださったトリトンアーツの皆様に御礼申し上げます。

### トリトンアーツ第5期評価委員会を終えて

公益社団法人企業メセナ協議会

シニア・プログラム・オフィサー 内田 秋

第4期の1年と第5期の3年、計4年間の評価委員会への参加で一番感じたことは、トリトンアーツは進化し続けている、ということです。今期は、15周年を契機にそれまでの活動を振り返り、今後なりたい姿を描き、ビジョンへ向けて一步を踏み出したタイミングでした。そのため、課題や現場の悩みに対するリニューアルポイントや成果などが見え、一層成長するトリトンアーツの姿を垣間見る結果となったのです。

事業では、ホール公演はもとより、小学校などへのアウトリーチにより音楽との新たな出会いを生み出し、演奏家の育成やコミュニティへの派遣、サポーターとの協同など、多彩なプログラムを丁寧に展開しています。今後はこれら、聴く人、演奏する人、両者をつなげる人、それぞれの機能を循環させられると、「音楽でつながり、音楽とともに生きる社会の実現」へとより近づくのではないのでしょうか。

企業メセナの観点も（立場的に）外せません。第一生命保険と社員個人による二重構造の資金支援で

安定的な運営をしている一方、社員がボランティアとしてホール企画に参加できる仕組みもあります。ここでもホールへのアクセスポイントを持っており、様々なセクターをより多面的につないで、音楽による社会づくりをしていると言えます。普段は企業を起点にメセナを拝見していますが、今回はホールを起点にその現場を拝見しました。そしてその真摯なまなざしと行動に触れ、もとに戻るようですが、企業メセナはやっぱりすごい、と改めて頼もしく感じ勇気づけられたことを、最後に記します。

## トリトンアーツ第5期評価委員を終えて

公益財団法人読売日本交響楽団  
事業制作部 制作課 主任 大久保広晴

私たちの生活スタイルは、時代の流れと共に日々刻々と変化しています。同様に、コンサートホールやクラシック音楽の在り方も少しずつ変わっていると言えるでしょう。この3年間で強く印象に残ったのは、トリトンアーツが常に社会や環境の変化にアンテナを張り、第一生命ホールの伝統を継承しながら地域での新たな役割を模索し続けている点です。

明確なビジョンとミッションを持ち、全ての事業で自己評価を繰り返しているトリトンアーツの熱心な取り組みは、日本のクラシック音楽界におけるNPOの活動の中でも先駆的なものと感じました。多角的な視点で企画された公演事業と将来を見据えて地道に展開しているコミュニティ活動をバランス良く開催し、幅広い年齢層のサポーターとの協同にも積極的に取り組んでいます。また自己評価の方法も、定量的、定性的の双方から厳しく行っており、現状に満足せず、より良いものを作ろうとする意欲に溢れたものでした。

トリトンアーツの運営は、音楽文化と地域、そして第一生命ホールへの深い愛情を感じられるもので、心打たれました。今後、時代の変化と共にトリトンアーツがどのように発展し、社会に貢献していくのか、楽しみにしています。将来的には、トリトンアーツの愛情がホールの運営にも注ぎ込まれ、ハードとソフトの両面から地域の音楽文化の発展に寄与する形が実現することを願っています。陰ながら応援させていただきます。

## 第5期評価委員終了に当たって

中央区文化・国際交流振興協会  
事務局次長 町田一雅

このたび第5期評価委員を3年間にわたり務めさせていただきましたが、この間、トリトンアーツが認定NPO法人へとランクアップされるとともに、2016年には「トリトン・アーツ・ネットワーク／第

「第一生命ホール 15 周年」の節目の年を迎えられ、これまでのミッションを踏まえ、新たに定めた「ビジョン」の下に、公演事業とコミュニティ事業を基軸に進むべき方向性を明確にし、サポーター制度のリニューアルを図るなど、次なるステージへのスタートを切るため、さまざまな改革にトリトンアーツ皆様が総力を挙げて果敢に挑まれ、その結果さらなる飛躍に向けた第一歩を力強く着実に踏み出していることに、深甚なる敬意を表する次第であります。

次代を担う感性豊かな子どもたちから経験豊富な高齢者の方に至るまであらゆる年齢層の方が、我が国トップクラスの音響設備を擁する第一生命ホールで多彩なプログラムのコンサートを楽しめて、学校や病院など身近な地域でも個々の需要に応じた本物の音楽に触れることができるわけであり、約 10k m<sup>2</sup>のコンパクトなまちの中央区にあって、区民等の方々には恵まれた音楽環境の中で心豊かに暮らしていけることを実感した 3 年間であります。

今後、平成 36 年ごろには「20 万都市」が見込まれる中央区にあって、晴海地区は東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の終了後は、「誰もが憧れ住んでみたいと思えるまち」の実現を目指していく計画になっております。トリトンアーツにおかれましてもこうした絶好の機会を最大限に生かし、「音楽でつながり、音楽とともに生きる社会の実現」に向けて、行政や関係団体とも密接に連携を図りながら、各種事業の充実強化に取り組んでいかれることを心から期待しております。

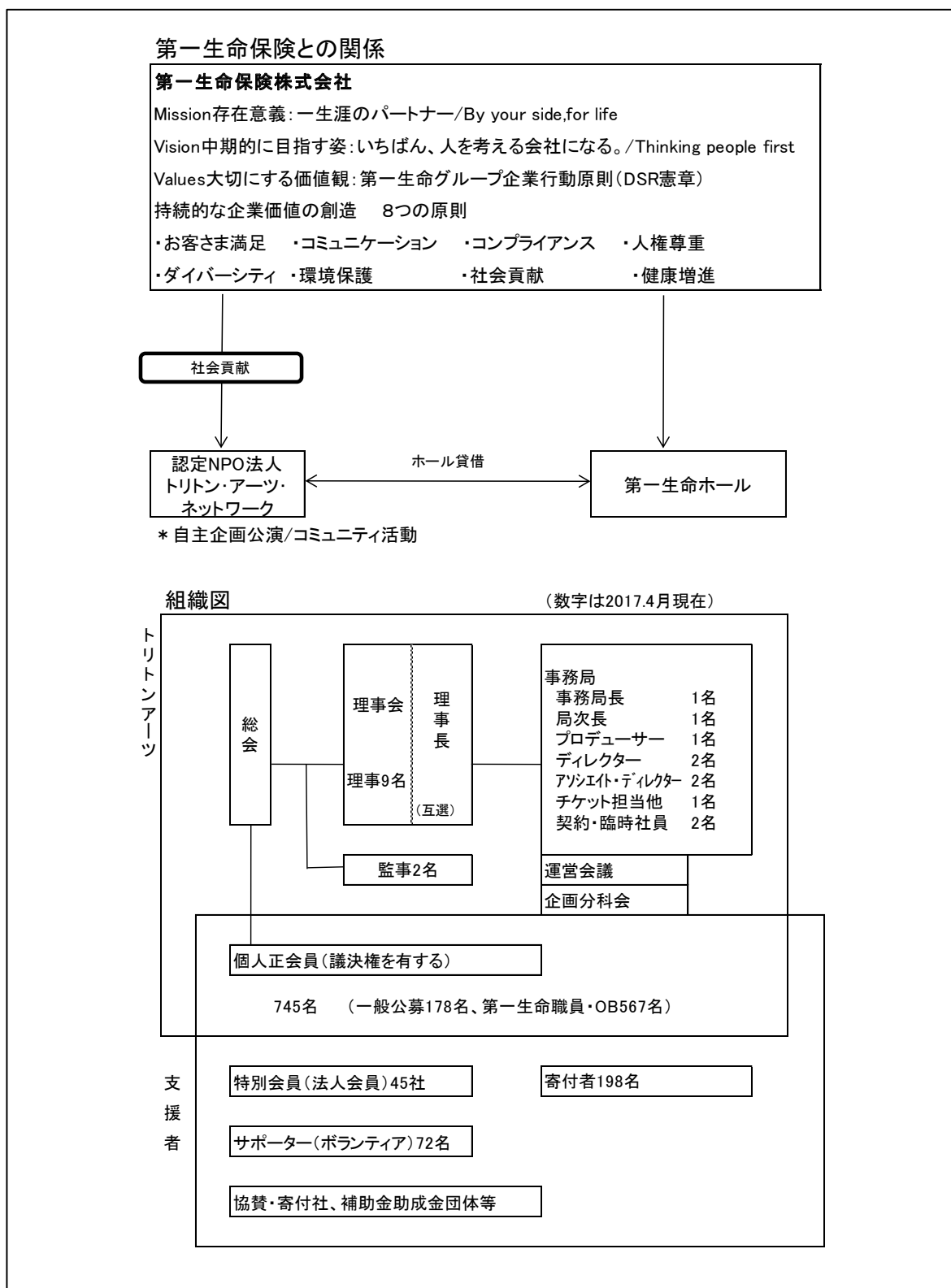
## トリトンアーツ評価委員会事務局を担って

評価委員会事務局  
早稲田大学研究戦略センター  
准教授 島岡未来子

2015 年から 3 年間評価委員会事務局をつとめさせていただきました。小職は NPO の経営、特にステークホルダーマネジメントを研究対象としておりますが、トリトンアーツが、ホール公演事業のみならずコミュニティ事業まで幅広く対象にしていること、サポーター制度の設置、外部評価委員会という制度を自ら設置されていることなどなど、広範なステークホルダーを包摂する組織運営方針に強い感銘をうけました。何よりも印象深かったのは、携わるスタッフのみなさんの音楽やコミュニティに対する真摯な思いであり、まさに NPO の真髄を見る思いがしました。事務局を担当させていただき心から感謝申し上げます。トリトンアーツの今後のますますの発展を祈念しております。

# 第Ⅲ部 資料編

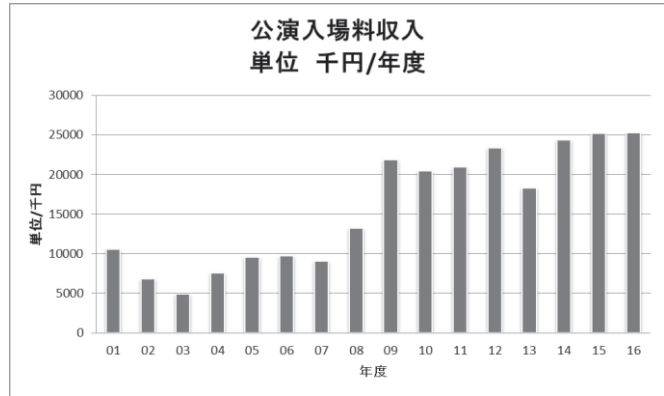
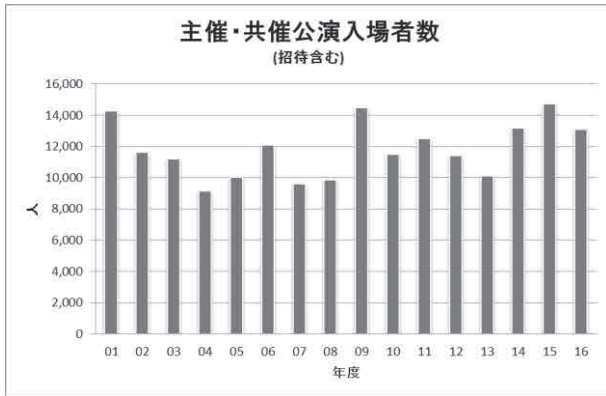
## 1. 第一生命保険との関係およびトリトンアーツ組織図（資料：トリトンアーツ事務局作成）



## 2. ホール事業

### ・公演入場料収入と入場者数

|                        | 2001   | 2002   | 2003   | 2004  | 2005   | 2006   | 2007  | 2008   | 2009   | 2010   | 2011   | 2012   | 2013   | 2014   | 2015   | 2016   | 単位   |
|------------------------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|------|
| 公演入場料収入<br>単位 千円/年度    | 10,591 | 6,850  | 4,883  | 7,565 | 9,594  | 9,721  | 9,091 | 13,188 | 21,856 | 20,479 | 20,909 | 23,372 | 18,322 | 24,350 | 25,164 | 25,260 | (千円) |
| 主催・共催公演入<br>場者数 (招待含む) | 14,258 | 11,641 | 11,201 | 9,125 | 10,035 | 12,074 | 9,592 | 9,837  | 14,501 | 11,501 | 12,513 | 11,403 | 10,094 | 13,174 | 14,721 | 13,083 | (人)  |

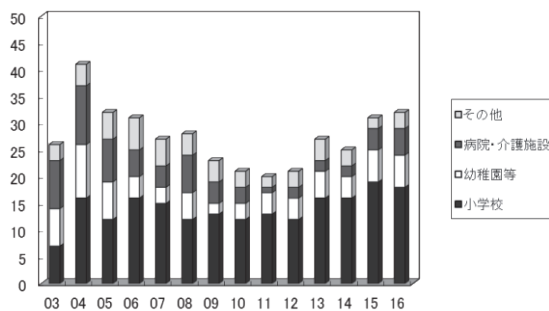


## 3. コミュニティ事業

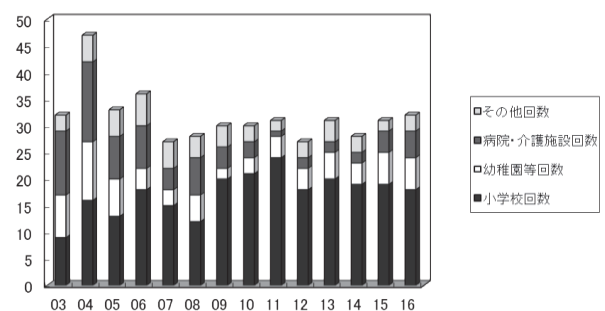
### ・アウトリーチ実施場所と実施回数

| 場所/年度      | 2003      | 2004      | 2005      | 2006      | 2007      | 2008      | 2009      | 2010      | 2011      | 2012      | 2013      | 2014      | 2015      | 2016      |
|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 小学校        | 7         | 16        | 12        | 16        | 15        | 12        | 13        | 12        | 13        | 12        | 16        | 16        | 19        | 18        |
| 回数         | 9         | 16        | 13        | 18        | 15        | 12        | 20        | 21        | 24        | 18        | 20        | 19        | 19        | 18        |
| 幼稚園等       | 7         | 10        | 7         | 4         | 3         | 5         | 2         | 3         | 4         | 4         | 5         | 4         | 6         | 6         |
| 回数         | 8         | 11        | 7         | 4         | 3         | 5         | 2         | 3         | 4         | 4         | 5         | 4         | 6         | 6         |
| 病院・介護施設    | 9         | 11        | 8         | 5         | 4         | 7         | 4         | 3         | 1         | 2         | 2         | 2         | 4         | 5         |
| 回数         | 12        | 15        | 8         | 8         | 4         | 7         | 4         | 3         | 1         | 2         | 2         | 2         | 4         | 5         |
| その他        | 3         | 4         | 5         | 6         | 5         | 4         | 4         | 3         | 2         | 3         | 4         | 3         | 2         | 3         |
| 回数         | 3         | 5         | 5         | 6         | 5         | 4         | 4         | 3         | 2         | 3         | 4         | 3         | 2         | 3         |
| <b>場所計</b> | <b>26</b> | <b>41</b> | <b>32</b> | <b>31</b> | <b>27</b> | <b>28</b> | <b>23</b> | <b>21</b> | <b>20</b> | <b>21</b> | <b>27</b> | <b>25</b> | <b>31</b> | <b>32</b> |
| 回数計        | 32        | 47        | 33        | 36        | 27        | 28        | 30        | 30        | 31        | 27        | 31        | 28        | 31        | 32        |
| 協力企画       | 8         | 14        | 6         | 2         | 2         | 2         | 2         | 4         | 7         | 4         | 3         | 3         | 2         | 2         |

アウトリーチ実施場所



アウトリーチ実施回数



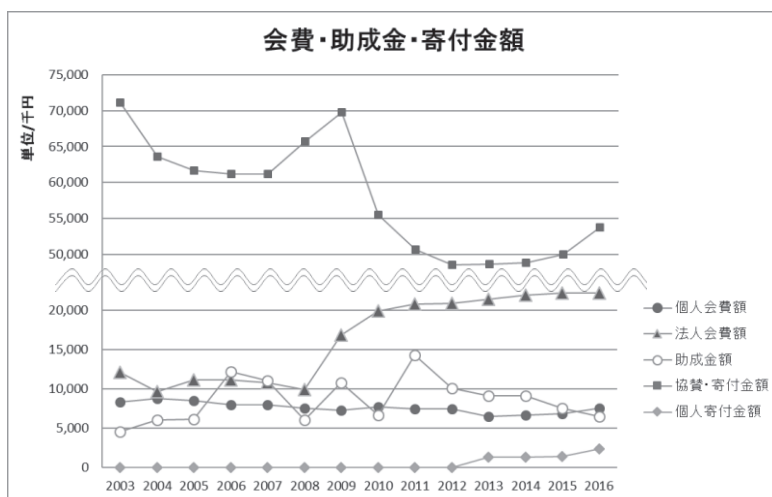
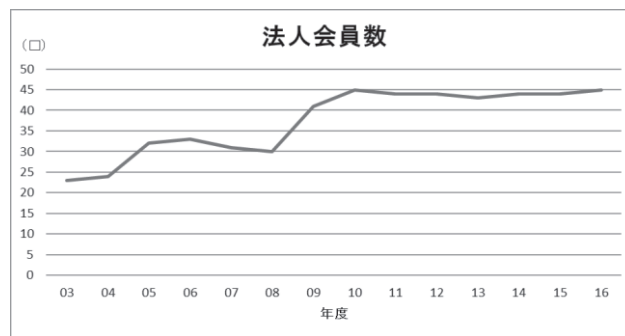
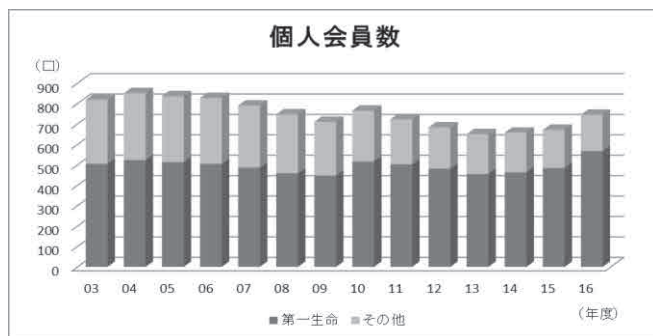
## 4. NPO ガバナンス

### ・ 会員別年会費

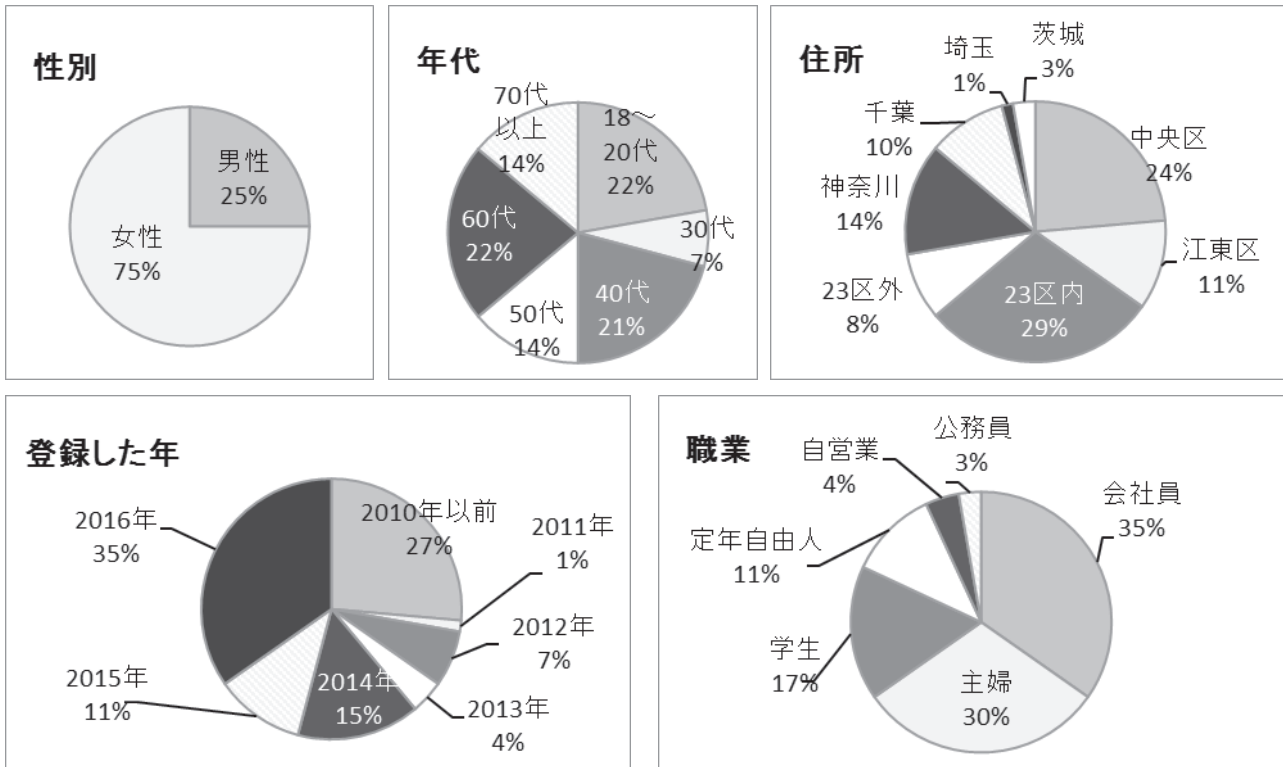
|            |                              |
|------------|------------------------------|
| 個人正会員      | 1万円                          |
| 特別会員(法人会員) | エステルハージ・サークル会員<br>1口10万5口以上  |
|            | ラズモフスキー・サークル会員<br>1口10万2口～4口 |

### ・ 会員状況、助成先、協賛先

| 分類 / 年度           | 2003   | 2004   | 2005   | 2006   | 2007   | 2008   | 2009   | 2010   | 2011   | 2012   | 2013   | 2014   | 2015   | 2016   |
|-------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 個人会員 計            | 819口   | 851口   | 836口   | 827口   | 790口   | 747口   | 710口   | 765口   | 723口   | 683口   | 653口   | 657口   | 674口   | 753口   |
| 個人会費額 単位千円        | 8,340  | 8,800  | 8,525  | 8,000  | 7,990  | 7,560  | 7,310  | 7,730  | 7,460  | 7,410  | 6,510  | 6,650  | 6,840  | 7,550  |
| 分類 / 年度           | 2003   | 2004   | 2005   | 2006   | 2007   | 2008   | 2009   | 2010   | 2011   | 2012   | 2013   | 2014   | 2015   | 2016   |
| 内訳                | 第一生命   | 505    | 523    | 513    | 505    | 486    | 458    | 447    | 516    | 502    | 481    | 455    | 463    | 484    |
|                   | その他    | 314    | 328    | 323    | 322    | 304    | 289    | 263    | 249    | 221    | 202    | 195    | 194    | 187    |
| 法人会員              | 23     | 24     | 32     | 33     | 31     | 30     | 41     | 45     | 44     | 44     | 43     | 44     | 44     | 45     |
| 法人会費額 単位千円        | 12,100 | 9,600  | 11,100 | 11,100 | 10,800 | 9,900  | 16,800 | 19,900 | 20,800 | 20,900 | 21,400 | 21,900 | 22,200 | 22,200 |
| 助成件数              | 5      | 8      | 6      | 10     | 8      | 4      | 7      | 6      | 9      | 4      | 3      | 2      | 2      | 3      |
| 助成金額 単位千円         | 4,600  | 6,050  | 6,100  | 12,200 | 11,018 | 6,034  | 10,795 | 6,649  | 14,262 | 10,048 | 9,148  | 9,103  | 7,515  | 5,670  |
| 協賛・寄付社件数          | 2      | 2      | 3      | 3      | 3      | 3      | 3      | 4      | 3      | 3      | 3      | 3      | 3      | 3      |
| 協賛・寄付金額 単位千円      | 71,090 | 63,604 | 61,650 | 61,198 | 61,170 | 65,730 | 69,801 | 55,500 | 50,600 | 48,500 | 48,600 | 48,800 | 50,000 | 53,750 |
| 個人寄付者※内諾者含む申込みベース | —      | —      | —      | —      | —      | —      | —      | —      | —      | 153名   | 207名   | 200名   | 201名   | 198名   |
| 個人寄付金額 単位千円       | —      | —      | —      | —      | —      | —      | —      | —      | —      | 28     | 1,329  | 1,337  | 1,440  | 2,334  |



・サポーターの属性 (2017年3月末時点)



・サポーター数推移

| 年度            | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 |
|---------------|------|------|------|------|------|------|------|
| サポーター数        | 58   | 61   | 73   | 63   | 73   | 64   | 72   |
| 中央区           | 20   | 20   | 24   | 21   | 24   | 22   | 17   |
| 中央区外          | 38   | 41   | 49   | 42   | 49   |      |      |
| 江東区           |      |      |      |      |      | 8    | 8    |
| 23区内          |      |      |      |      |      | 16   | 21   |
| 23区外          |      |      |      |      |      | 6    | 6    |
| 神奈川           |      |      |      |      |      | 6    | 10   |
| 千葉            |      |      |      |      |      | 3    | 7    |
| 埼玉            |      |      |      |      |      | 2    | 1    |
| 茨城            |      |      |      |      |      | 1    | 2    |
| 男性            | 16   | 15   | 20   | 19   | 19   | 13   | 18   |
| 女性            | 42   | 46   | 53   | 44   | 54   | 51   | 54   |
| 前年度からの新規登録    | 13   | 17   | 25   | 9    | 20   | 13   | 25   |
| 前年度からの退会      | 26   | 14   | 13   | 19   | 10   | 22   | 17   |
| 20代           |      |      |      |      |      | 7    | 16   |
| 30代           |      |      |      |      |      | 3    | 5    |
| 40代           |      |      |      |      |      | 14   | 15   |
| 50代           |      |      |      |      |      | 10   | 10   |
| 60代           |      |      |      |      |      | 18   | 16   |
| 70代以上         |      |      |      |      |      | 9    | 10   |
| 不明            |      |      |      |      |      | 3    |      |
| 2010年以前(7年以上) |      |      |      |      |      | 26   | 19   |
| 2011年から(6年目)  |      |      |      |      |      | 2    | 1    |
| 2012年から(5年目)  |      |      |      |      |      | 5    | 5    |
| 2013年から(4年目)  |      |      |      |      |      | 3    | 3    |
| 2014年から(3年目)  |      |      |      |      |      | 14   | 11   |
| 2015年から(2年目)  |      |      |      |      |      | 14   | 8    |
| 2016年から(1年目)  |      |      |      |      |      |      | 25   |



5. 2016 年度トリトンアーツ主催公演における顧客分析抜粋（資料：トリトンアーツ事務局作成）

◎本データは、主にトリトンアーツ主催公演のトリトンアーツ・チケットデスクでのチケット購入者を対象に集計を実施。各プレイガイドでの購入者及び当日券購入者は集計対象には含まれていない。（個人正会員招待利用者は購入者としてカウント）2016 年度対象公演のシリーズ別一覧は右図のとおり。

◎集計方法

[購入公演数] ⇒ 購入者人数（ユニーク数）で集計  
 その他 ⇒ 購入件数（延べ人数）で集計

◎『購入履歴無』の購入者 = 初購入者

『購入履歴有』の購入者（2回目以降）= リピーター と定義

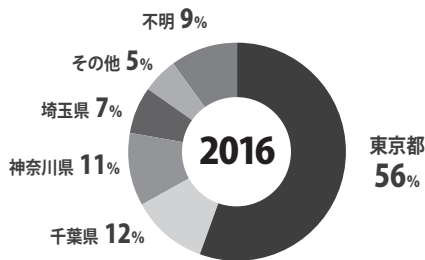
◎顧客の性別・年齢はオンライン会員登録をしている顧客のみ集計。

（オンライン会員登録の際、性別と生年月日が必須記入項目として存在する為。（電話・来社予約等では性別・年齢情報は不要。））

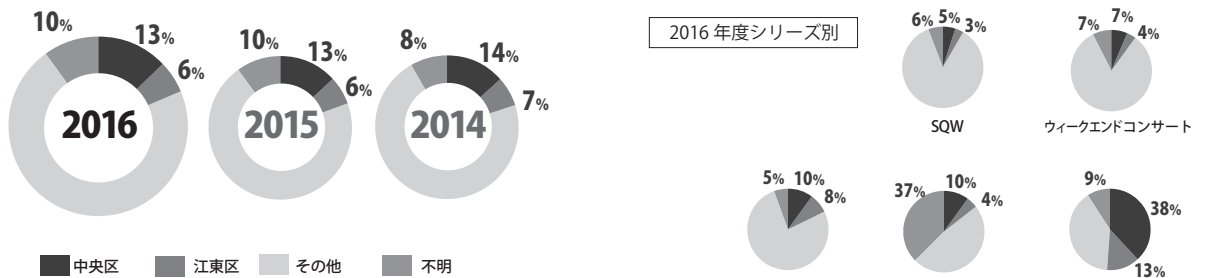
◎集計対象

|         | 公演数   | 購入件数<br>(延べ人数) | 購入者人数<br>(ユニーク数) |
|---------|-------|----------------|------------------|
| 2016 年度 | 22 公演 | 3,982 人        | 2,653 人          |
| 2015 年度 | 22 公演 | 4,326 人        | 2,956 人          |
| 2014 年度 | 24 公演 | 4,339 人        | 2,942 人          |
| 2013 年度 | 19 公演 | 3,366 人        | 2,496 人          |

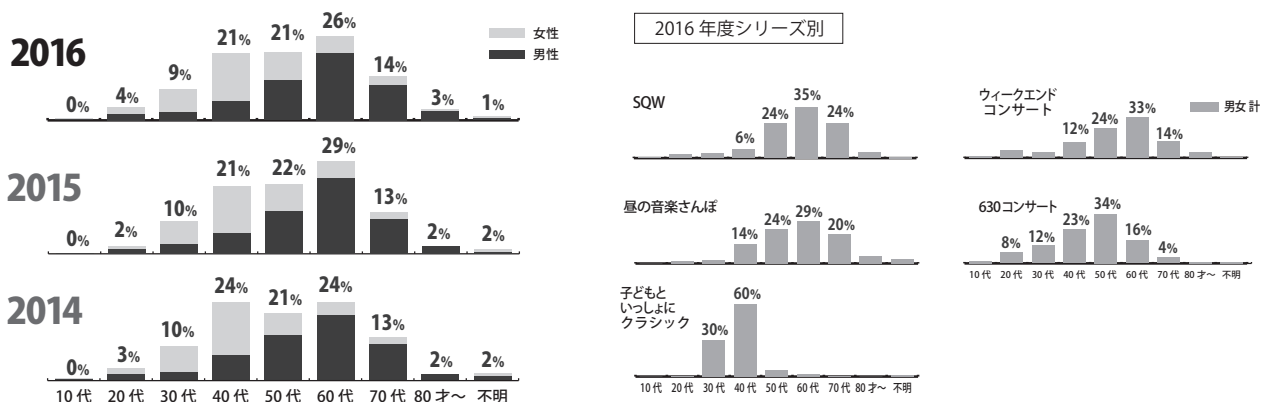
チケット購入者の居住地（オンライン予約&Tel・来社他）



チケット購入者の居住地（中央区・江東区が占める割合）（オンライン予約&Tel・来社他）



チケット購入者の年代（オンライン予約）

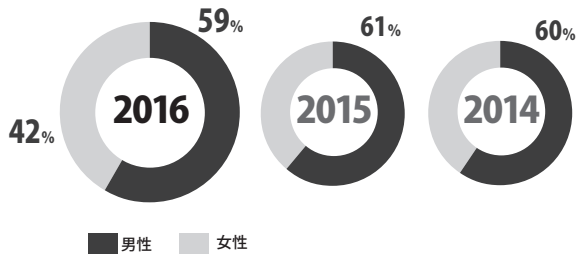


◎2016 年度顧客分析対象公演

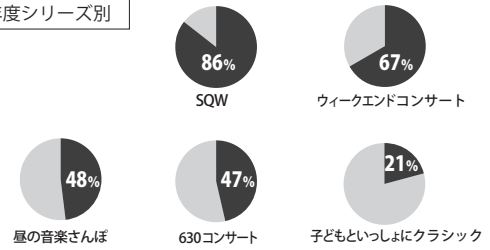
| SQW 5 公演           |                                     |
|--------------------|-------------------------------------|
| 1                  | 9/3 (土) ディオティマ弦楽四重奏団                |
| 2                  | 10/10 (月・祝) ウェールズ弦楽四重奏団             |
| 3                  | 12/4 (日) プラジャーク・クワルテット              |
| 4                  | 2017/2/19 (土) エルデーディ弦楽四重奏団 [共催]     |
| 5                  | 2017/3/12 (日) クアルテット・エクセルシオ         |
| ウィークエンドコンサート 7 公演  |                                     |
| 1                  | 5/14 (土) 室内楽の魅力 プラームス 第3回           |
| 2                  | 6/4 (土) 室内楽の魅力 プラームス 第4回            |
| 3                  | 7/1 (金) 児玉麻里 ベートーヴェンピアノ・ソナタ選集 I     |
| 4                  | 9/25 (日) 室内楽の魅力 プラームス 第5回           |
| 5                  | 10/30 (日) トリトン晴れた海のオーケストラ 第2回演奏会    |
| 6                  | 11/20 (日) モーツァルト 第1回                |
| 7                  | 11/26 (土) モーツァルト 第2回                |
| 雄大と行く 屋の音楽さんぽ 4 公演 |                                     |
| 1                  | 5/27 (金) 第5回 与那城 敬&小川里美             |
| 2                  | 8/23 (火) 第6回 金子三勇士                  |
| 3                  | 10/15 (土) 第7回 須川展也                  |
| 4                  | 11/2 (水) 第8回 岡本誠司                   |
| 630コンサート 2 公演      |                                     |
| 1                  | 11/2 (水) 岡本誠司                       |
| 2                  | 2017/2/8 (水) 本田雅人 B.B. STATION      |
| 子どもとじっくりクラシック 4 公演 |                                     |
| 1                  | 9/10 (土) 『音楽と絵本』コンサート『スーホの白い馬』      |
| 2                  | 12/10 (土) クリスマス・オーケストラ・コンサート (1 回目) |
| 3                  | 12/10 (土) クリスマス・オーケストラ・コンサート (2 回目) |
| 4                  | 2017/3/18 (土) 子育て支援コンサート『モチモチの木』    |

※1 12/10 クリスマス・オーケストラ・コンサート (2 回公演) は 2 公演として集計。 ※2 ロビーでよちよちコンサート (7 月・11 月、2017 年 3 月各 1 公演) は集計対象外。 ※3 共催公演 (4 月・6 月・8 月・12 月各 1 公演、11 月 2 公演) は集計対象外。エルデーディ弦楽四重奏団公演は共催公演なるも集計。

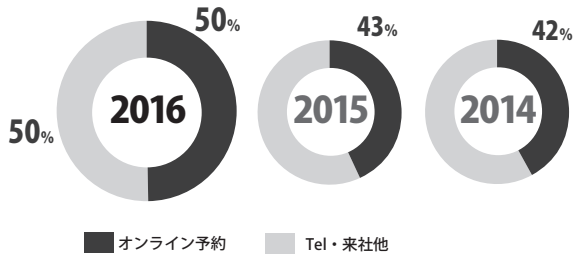
チケット購入者の男女比 (オンライン予約)



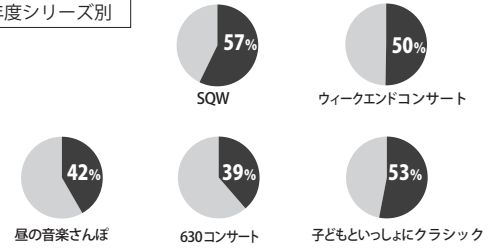
2016 年度シリーズ別



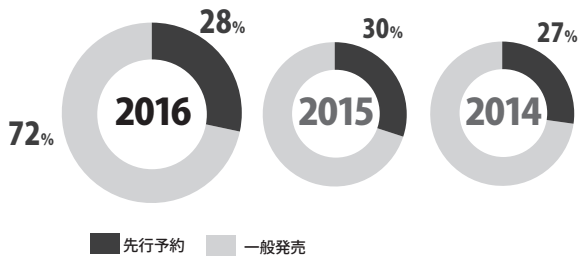
チケット購入方法 (オンライン予約&Tel・来社他)



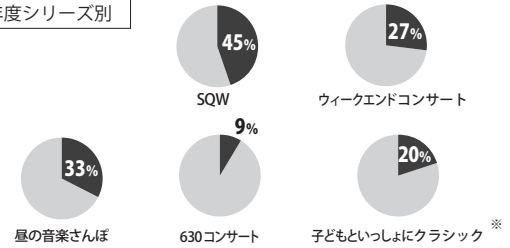
2016 年度シリーズ別



先行予約利用状況 (オンライン予約&Tel・来社他)

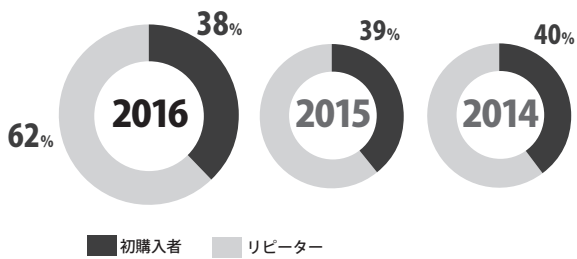


2016 年度シリーズ別

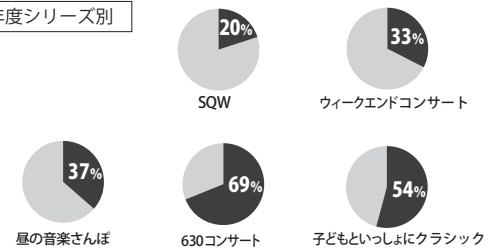


※ 3/18 子育て支援コンサートは先行予約販売なし

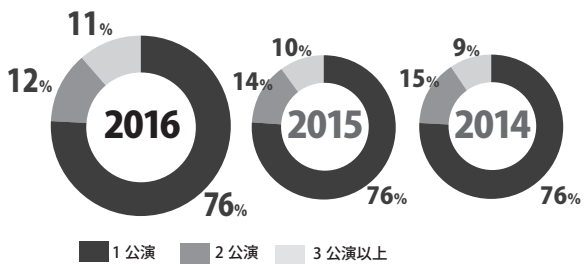
初購入者・リピーターの割合 (オンライン予約&Tel・来社他)



2016 年度シリーズ別



購入公演数 (オンライン予約&Tel・来社他)



認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク 2016年度事業報告書  
認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク 編

認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク 2016年度評価事業報告書  
認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク評価委員会 編

---

発行 2017年7月

認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク  
〒104-6005 東京都中央区晴海1-8-10 晴海アイランドトリトンスクエアX棟5階  
TEL : 03-3532-5701 FAX : 03-3532-5703  
<http://www.triton-arts.net>